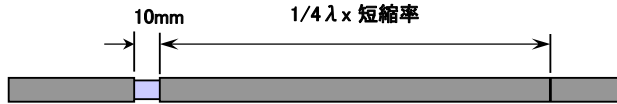
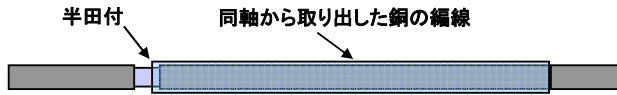


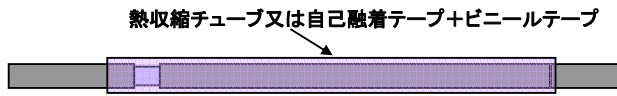
シュベルトップバランの製作



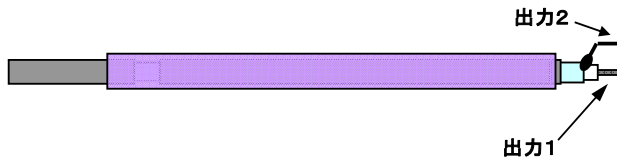
同軸ケーブルの先端部を20mm位残して、 $(1/4 \lambda \times \text{短縮率})$ mmの位置で外皮を幅10mm位剥がします。この時、先端に近い部分の基点にマーキングをしておきます。



使用する同軸ケーブルと同じ太さのケーブルから計算した長さの1.5~2倍の長さの編線を取り出します。編線を被せて、一端はケーブルに半田し、他端はマーキング位置で切り落とします。



工作部分を保護する為に、収縮チューブ又は自己融着テープ+ビニールテープを巻きます。この時、編線がなじんではないと延びてしまい、計算した寸法より長くなってしまいますので注意が必要です。少し膨らんでもかまわなければ、先端部から固定すれば、延びる事はありません。



先端部を加工して編線部と芯線部を図のように露出させます。出力1は直角に曲げて、直接エレメントに半田しますので、少し長めにします。出力2は編線を振って、先端部をエレメントに直接半田します。編線がむきだしになっている部分にはビニールテープ等で絶縁しておきます。

($1/4 \lambda \times \text{短縮率}$)寸法

| 周波数 | 5D-2V | 5D-FB | 5D-SFA |
|------|-------|-------|--------|
| 50 | 1.005 | 1.215 | 1.245 |
| 144 | 0.349 | 0.422 | 0.432 |
| 430 | 0.117 | 0.141 | 0.145 |
| 1200 | 0.042 | 0.051 | 0.052 |
| 短縮率 | 0.67 | 0.81 | 0.83 |

(単位:m)

この3つのタイプでは、5Dと8Dの短縮率は同じですので、同一寸法になります。